

現場の声を届けるために 神奈川県への要望を行っています

神奈川県看護協会では、県内の看護に関する課題の解決に向けて、県や国の制度および予算に関する要望を行っています。

仕事も
プライベートも
大切にしたい

より良い看護が
したい

安全に働きたい

看護職の誇りを
もって働き続けたい



神奈川県健康医療局
副局長 埋橋美穂 様

神奈川県看護協会
会長 長野広敬



現場の声

大学病院から地元の中規模病院に転職したら、OJTや院内研修の機会が減ってしまいました…

県への要望

中小医療機関における看護師の継続教育に係る仕組み作りと財政措置について、要望しました

県の回答



- 県では、採用規模が小さい病院等に対して、**新人看護職員研修の必要経費の一部を支援**しています。
- また「教育支援ステーション」機能を果たす訪問看護ステーションへ、経費の一部補助を行っています。
- 今後、県看護協会と連携し、中小医療機関等における看護継続教育の実態を把握するとともに、課題の解決策の検討を行っていきます。



現場の声

助産師として、妊娠前の健康管理や学校での「命の授業」など、もっと地域に向けた活動がしたいな。



県への要望

女性の健康と少子化対策に資する助産師の活動への県の支援について、要望しました



県の回答



- 県のプレコンセプションケアを推進する取り組みとして、オンライン相談窓口の設置や企業向けの出前講座を行う予算を新たに計上しました。
- 県内の学校で助産師を外部講師として講演会などを実施することは、各学校の判断により可能です。
- 引き続き専門性の強化と相談体制の整備を進めています。



県への要望

2025年度

の
要望事項

1

看護職員確保のための 賃上げの実現について

看護職員の需要増に応じて、必要な人材を確保していくために、看護労働の価値に見合った適正な賃金水準の実現が必要不可欠です。さらなる賃上げのため、県から国へ積極的に働きかけていくように要望しました。



県への要望

2

神奈川県ナースセンター事業に係る 委託費の適正化等について



ナースセンター事業の認知度をさらに高め、就業者数を増やしていくため必要な委託費の適正化を求めました。また看護補助者的人材確保に関連した業務についても、県ナースセンターで実施できるよう予算措置を要望しました。



現場の声

ナースセンターに相談に行ったら、きめ細かなキャリア支援を受けられ、理想の働き方が見つかりました！

県への要望

神奈川県ナースセンター事業の充実について、要望しました



県の回答



- 県は、看護職員の人材確保において、ナースセンターの運営は極めて重要であると認識しています。
- 年3回にわたり実施した意見交換会や、日頃のナースセンターとの連携において、課題を共有しています。
- 今後も、eナースセンターの登録者の増、登録者の満足度の向上を含め、再就業看護職員数を増やす方策について検討していきます。



現場の声

訪問看護ステーションの管理者ですが、地域のニーズに対して訪問看護師がなかなか集まらず苦労しています…

県への要望

第8次神奈川県保健医療計画への訪問看護師必要数等の明示について、要望しました



県の回答



- 地域における訪問看護の需要は今後も増大すると見込まれており、訪問看護に従事する看護職員の確保をさらに図る必要があります。
- 現在策定中の「第8次神奈川県保健医療計画」において、国指針に沿って、**訪問看護に従事する看護職員の目標数**を設定することや、**訪問看護ステーションの役割を明確化**することについて検討しています。





現場の声

コロナ禍、介護施設の感染対策に苦労しましたが、協会の認定看護師が施設に来てくれて介護職と一緒に学べました。

県への要望

福祉施設等における感染防止標準予防策の普及に係る仕組みづくりについて、要望しました

県の回答



- 高齢者施設向けの研修として、感染症対策職員育成研修の実施、研修動画のインターネット公開と対面研修により、施設職員の感染対策の基礎知識と感染防止技術の習得を支援しました。
- 今後も保健福祉事務所や関係機関と連携し、**現場での感染症対策の普及啓発**に取り組んでいきます。



3

中小医療機関における看護師の継続教育に 係る仕組みづくりと財政措置について

看護職の研修体系を独自に構築することが難しい中小医療機関等に対して、県は「新人看護職員研修事業費補助」「教育支援ステーション事業費補助」などを行っていますが、継続教育を充実・強化していく観点から、さらなる県の支援を要望しました。



4

潜在保健師の業務推進に向けた取組および 統括保健師の配置に向けた働きかけについて



自治体保健師の確保に向けて、潜在保健師に対して説明会などを、県として実施していくことを求めました。また国の指針で求められている統括保健師について、県内のすべての自治体に配置されるよう、県から自治体に働きかけることを要望しました。



現場の声

不定期に行っている
「まちの保健室」事業
を、定期的に開催して
地域に貢献できないか
な？

県への要望

「まちの保健室」事業の定期
開催に係る県の支援について、
要望しました

県の回答



- 県では「未病改善」に関して、「出張未病センター」として、県看護協会の「かながわ看護フェスティバル」をはじめ、市町村でのイベントやスーパーなどで普及啓発を実施しています。
- 「まちの保健室」は県民の健康維持、「未病改善」に資する取り組みであり、目的は同じになりますので、「出張未病センター」との共同出店や開催場所の無償提供について検討していきます。



現場の声

看護職の働き方改革はどうなっているの？
やりがいのある看護の仕事を長く続けていきたいです！



県への要望

「就業継続が可能な看護職の働き方の提案10項目」の普及に向けた県の取組の推進について、要望しました



県の回答



●県では、県看護協会の協力のもと、看護職員の働き方改革推進セミナーを開催しました。今後も県看護協会と連携し、好事例の紹介などを行っていきます。

●提案10項目のうち「評価と待遇」について、県は、国に対し「看護職員待遇改善評価料」について、すべての看護職員の待遇改善が可能となるよう対象を拡大することを、要望しました。





現場の声

看護職の負担を軽減し
専門性を発揮するため
に、看護補助者の力を
もっと借りたいと思っ
ています。

県への要望

看護補助者の確保に向けた
県の支援について、要望しま
した

県の回答

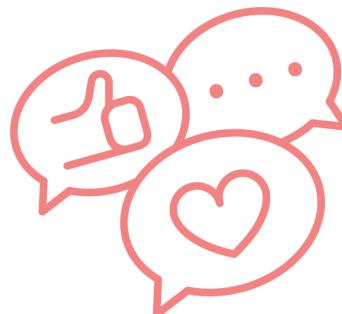


- 県は県看護協会との意見交換会などの中で、看護補助者の確保についても課題を共有してきました。引き続き県看護協会と連携しながら、効果的な対策を検討していくたいと考えています。
- 県は、国に対し、看護補助者の確保・定着に向けて、看護補助者の処遇改善を目的とした診療報酬上の措置を講じることを、要望しました。



現場の声を届けるために みなさまのご意見をお寄せください

看護を取り巻く課題の解決の始まりは、会員のみなさまからの現場の声です。
職能団体ならではの組織力を生かして、一緒に課題を解決していきましょう！



めいちゃん



りっくん

